

2019 年度

ロシア派遣留学報告書

実習先：ウラジオストク国立経済サービス大学

実習期間：9月9日（月）～12月30日（月）

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21018109

松尾歩香

目次

| | | |
|---|-----------------|-----|
| 1 | 留学先及び実習期間 | 3 |
| 2 | 留学先概要 | 3 |
| 3 | 留学目的 | 3 |
| 4 | 留学内容 | 4 |
| | 4・1 留学のスケジュール | 4 |
| | 4・2 留学のスケジュール詳細 | 5~9 |
| 5 | 当初の目的への達成度 | 10 |
| 6 | 反省・課題 | 10 |
| 7 | 謝辞 | 10 |

付録

| | | |
|--|----------------------|-------|
| | 授業の時間割・授業内容・留学生活について | 11~12 |
|--|----------------------|-------|

1 留学先及び実習期間

派遣先：ウラジオストク国立経済サービス大学

実習期間；令和元年9月9日（月）～12月30日（月）

2 留学先概要

（1）大学について

ウラジオストク国立経済サービス大学はロシア極東部ウラジオストクの中心地に位置する。1967年に開学し、学生数は1万5千を超える。8つの学部があり、ウラジオストクの最高水準の教育機関のひとつ。学内にはプール、スタジオ、美容院、病院、食堂、カフェがあり、設備も充実している。

（2）大学で行われている教育について

ウラジオストク経済サービス大学は、サービス業の専門家を育成する大学では全国1位を誇るなど質の高い教育が行われている。我々留学生は事前に簡単な試験を受け、それぞれのレベルに合うクラスで授業を行った。1クラスの人数は12、3人で発言する機会が多くあった。

3 留学目的

留学の目的は2つある。1つはロシア語力の向上だ。ロシア語検定に関心があるためロシア語力をさらに身につけたいと思った。しかし日本にいただけでは授業以外でロシア語を話す、聞く機会がなく、日常生活全てをロシア語にする事でリスニング力・会話力向上ができるのではないかと考えた。

もう1つはロシア文化に直に触れることだ。今までロシアについて小・中・高校までの教科書やインターネットの情報だけを見てきた。だが、直に触れることでロシア文化を別の視点から見ることができ、自分の中の固定概念を変えるためでもあった。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

| 月 | 日付 | 午前 | 午後 |
|----|--------|--------------------------|-------------|
| 9 | 9 (月) | | 到着及び入寮 |
| | 10 (火) | 学内を案内された | |
| | 11 (水) | 健康診断 | |
| | 12 (木) | クラス分けテスト | |
| | 13 (金) | 学生証発効手数料 250 ループ ル支払う | |
| | 16 (月) | 授業開始 | |
| | 19 (木) | | 市内散策 |
| | 23 (月) | 学生証作り | |
| | 25 (水) | 留学生オリエンテーション | |
| | 29 (日) | 虎の日 パレード参加 | |
| 10 | 12 (土) | サーカス鑑賞 | |
| | 24 (木) | 新潟紹介プレゼン | 市内散策 |
| 11 | 2 (土) | プリモルスキー水族館見学 | |
| | 4 (月) | 国民統一記念日 祝日 | トカレフスキー灯台観光 |
| | 7 (木) | ボルシチ・ブリヌイを作る | |
| | 18 (月) | 雪の影響により2限から休校 | |
| 12 | 13 (金) | 歴史試験 | |
| | 18 (水) | | 地理試験 |
| | 23 (月) | 文法試験 | |
| | 24 (火) | リスニング・会話試験 | 美術試験 |
| | 25 (水) | 長文読解試験 | |
| | 26 (木) | クリスマス会 | 音楽試験 |
| | 29 (月) | 退寮 | 帰国 |

4-2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

9月9日（月）到着及び入寮

現地時間 17 時にウラジオストク国際空港に到着。入国審査を済ませたのち、プラーソル先生と合流し寮へ向かった。18 時半頃寮に到着し、先生と共に近くのスーパーへ夕食と水を買に行った。

9月10日（火）学内案内

本来ならば健康診断をこの日に受ける予定だったが、待っている人数が多く 11 日に受診することに。大学近くの携帯ショップで全員が SIM カードを購入。300 ルーブルを現金で払った。支払いは現金のみになる。大学に戻り、事務の方に学内を案内してもらった。

9月11日（水）健康診断

学内にある病院で健康診断を受けるため受診料で 800 ルーブル払った。健康診断はレントゲン撮影のみで撮影の後、別室で医師のサインを貰った。

9月12日（木）クラス分けテスト

パソコンが装備されている教室で 2 種類のテストを受けた。1 つは自己紹介を兼ねた書き取りのテスト、もう 1 つは全て選択式の文法のテストだった。終えた人から教室を出てプラーソル先生から連絡事項を聞いた。

9月13日（金）学生証発効手数料として 250 ルーブル支払う

学生証発効手数料として現金で 250 ルーブル払った。機械で支払うため紙幣のみ取り扱いでお釣りは出ない。だが、お釣りの分は携帯料金にあてられるので心配ない。学生証を作る事務室に誰もいないというので後日することに。

9月16日（月）授業開始

日本人 6 名と韓国人 6 名で授業が行われた。先生方は優しく、留学生在がロシア語を理解していないと感じると、英語で説明してくださった。歴史、美術、地理、音楽は日本人と韓国人 1 名で行われた。

9月19日（水）市内散策

数日前の台風の影響で学内の電気状況が不安定なため、スペトラーナ先生と市内を歩いて回った。



9月25日（水）留学生オリエンテーション

この日は授業をせず、留学生全員でバスと電車を使い公園へ向かった。ロシアに関するミニゲームを5、6種類体験したのち、ブリヌイと紅茶を堪能した。最後に留学生だけでドラゴンに乗り同じグループ以外の留学生とも仲良くなれた。



9月29日（日）虎の日

ウラジオストクでは毎年9月の最終日曜日、虎保護を訴えるパレードが行われている。パレードには毎年多くの人々が虎の仮装やメイクをして参加している。我々もVGUESのメンバーとしてパレードに参加した。



10月24日（木）新潟紹介プレゼン・市内散策

昼休みに新潟を紹介するプレゼンを行った。新潟の地理・歴史・工芸品・長岡花火・NUISについて話した。聞きに来た学生、先生方と共に日本の遊びとして折り紙と早口言葉を紹介した。プレゼンの後、6人のロシア人学生と全員で中心街を散策した。



11月2日（土）プリモルスキー水族館見学

ロシア人学生2名と韓国人1名、中国人5名、日本人全員でルースキー島にあるプリモルスキー水族館に行った。海洋生物以外に熱帯植物や昆虫、古代生物が展示されている。



11月4日（月）国民統一記念日 祝日・トカレフスキー灯台観光

ロシアでは11月4日は、国民統一記念日に制定されているので祝日になる。

トカレカフスキー灯台に日本人を含め10人で行った。バス停から灯台までは遠く、風が強いので防寒具を持参する方が良い。



11月7日（木）ボルシチ・ブリヌイ作り

スベトラーナ先生、ビクトリア先生と我々のグループ全員でボルシチとブリヌイを作った。9時に我々のグループ全員が大学近くのスーパーに集り材料を購入。韓国人学生たちの寮で作り、仲がさらに深まった。

12月13日（金）歴史試験

歴史の試験が行われた。内容は、ピョートル1世について1人5分程度でプレゼンをするものだった。パワーポイントで各自スライドを7～8枚と原稿を作り発表した。

12月18日（水）地理試験

本来であれば25日に行うはずだったが、急遽18日に予告なしで行われた。内容は気候、動物、ウラジオストクの祝日、美術館・博物館の名前、気に入った場所を書くものだった。

12月23日（月）文法試験

文法の試験が行われた。内容は主格で書かれている文を意味が通るように生格・与格・対格・造格・前地格に書き換えるもので、その場で採点される。

12月24日（火）リスニング・会話・美術試験

リスニングはコンピューターが設置されている教室で行われた。先生の声が録音されたファイルを聞き、紙に答えを書いた。

会話は教科書の課名が書かれた紙を1人ずつ取り、同じ課名が書かれた人とペアになる。ペアが決まると、会話の内容を2人で考え、暗唱するものだった。

美術はロシア画家の名前と作品名、ホフロマ・グジェリ・マトリョーシカとは何か、という問いに答えた。

12月25日（水）長文読解試験

長文読解の試験が行われた。家族・趣味・町など好きなテーマを決め、先生の隣に座り1人5分程で紙を見ずに語った。この時に携帯の写真を見せることはできた。語りを終え、先生が教科書のこのページを読んで、と指示を出すので該当するページを先生が止めるまで読んだ。

12月26日（木）クリスマス会 音楽試験

1・2限の時間を使いクリスマス会をした。紅茶や菓子を食ベロシアの映画を見た。音楽の試験では、ソロ・指揮者・オーケストラ・弦楽器とは何かについて答えた。



12月29日（月）退寮・帰国

仲良くなった韓国人留学生に別れを告げ退寮した。空港ではロシア人学生が出国手続きを手伝ってくれたのでスムーズに手続きを終え、無事に日本に着いた。

5 当初の目的への達成度

留学の目的の1つであるロシア語の向上についてである。

最初の一か月は先生方がおっしゃること、教科書に書かれていることが理解できなかった。だが、勉強を続けているうちに会話を続けることや教科書に書かれていることが分かるようになった。これからもロシア語の勉強を続けていきたい。

2つ目はロシア文化に触れることについてである。

ロシアで生活することで様々なロシア文化に触れることができた。食文化では、スーパーでピロシキ・ブリヌイを買い、食べることで体験できた。その他にも音楽の授業で民族楽器や歌を知ることができた。

6 反省・課題

ロシア語での会話で相手の言うことが分からず、会話を中途半端に終わらせ、他の人に頼ることが多々あった。また会話が成立するか不安で、自分から話しかけに行くことがあまりなかった。そのため語彙力やロシアに関する知識を増やすためにも勉強を続けていきたい。

初めて親元を長期間離れ生活したことで親のありがたみを知った。これからは親や周りの人に感謝して生活していきたい。

7 謝辞

今回、ウラジオストク国立経済サービス大学にて叱咤激励して下さった先生方、出国前から帰国後までサポート・指導して下さった先生方、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また国際情報大学から頂きました奨学金により本留学参加が実現し、有意義な体験ができましたことを心から感謝いたします。

付録 授業の時間割 授業内容 生活について

授業の時間割

| 時間/曜日 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|--------------------|------|-------|------|-------|-----|
| 1 限 8:30~10:00 | 文法 | リスニング | 文法 | 会話 | |
| 2 限 10:10~11:40 | 長文読解 | 会話 | 長文読解 | リスニング | 歴史 |
| 3 限 11:50~13:20 | | | | | |
| 4 限 13:30~15:00 | 歴史 | 美術 | 地理 | 音楽 | 文法 |

注：上記の時間割に至るまで2回変更されたが、内容に変化はない。

授業内容

○文法

最初是对格から学ぶ、次に前置格・与格・生格・造格の順に学んでいく。学んだ格を用いて文を作り、先生の質問に答えるのが主な内容だ。毎時間「昨日は何をしていましたか。」
「授業の後に何を予定ですか。」と一人ずつ尋ねられる。

○長文読解

毎時間2~3の長文を輪読した。頻りにしたことは教科書の内容をまとめて暗唱することだ。最初はまとめることに苦労するだろうが次第に慣れていく。

○歴史

本来は16世紀から活躍した皇帝・女帝を学ぶ科目である。だが我々と午後の授業を受けていた韓国人に「内容が難しい」と先生に伝えて頂いたところ、古代ロシアを学ぶことになった。毎時間プリントを輪読し、難しい単語を別の言葉に言い換えることが多かった。稀に内容をまとめ発表した。

○リスニング

最初は短い単語を聞き取りノートに書くことが主な内容だった。次第にそれぞれの課で習った単語を用い会話を作り発表した。

○会話

リスニングと似ていた。新しい単語や会話表現を用いて会話をする、教科書の会話例文をペ
アで読むことが多かった。数回だが映像を見て先生からの質問に答えることもした。

○美術

ロシアの風景画家（пейзажист）について学んだ。学ぶだけでなく、虎・マトリョ
ーシカ・海・風景・グジェリ・ホフロマの絵を描くことが多かった。

○地理

主に天気・観光名所・祝日を習った。毎時間プリントを輪読した後、先生がパワーポイント
を用いて説明して下さったのでとても分かりやすかった。

○音楽

ロシアの国歌やカリンカ・カチューシャなど、ロシア人の誰もが知っている歌を学び歌った。
伝統楽器についても映像を用いて紹介されたので楽しい授業だった。

生活について

寮での生活は快適だった。各部屋に勉強机、椅子、ベッド、冷蔵庫、キッチンボード、テレ
ビ、クローゼットが置かれている。ベッドの枠、冷蔵庫の大きさ、(ブラウン管・薄型) テ
レビ、部屋の照明の明るさは部屋によって異なるが、大差はない。キッチンと洗濯場は共同
なので、他国の留学生と交流できる場でもある。洗濯をする場合は勝手にせず、管理人に伝
え 90 ルーブル払う必要がある。各階に洗濯機は 2 個しかないので先約があった場合、管理
人が部屋まで呼びに来てくれた。余計なトラブルを起こさないために洗濯物は各自の部屋
で乾かすことを勧める。暖房がつくと室内が乾燥するので、飲み水と保湿クリームを常備し
ておくことを勧める。留学生活で苦労したことは水である。ロシアの水道水は沸騰させない
限り飲めないと思った方が良く、主に食器を洗うために使った。ロシアのシャンプーとリン
スで髪を洗うと髪がきしむので、洗い流さないトリートメントを持参することを勧める。近
くのスーパーで最大 5ℓ の水が売られているので、1 つあると便利だ。留学当初は料理を作
る余裕がないと思うが、次第に生活や授業に慣れ時間にゆとりができる。